

(別記第3号様式)

アドバイザー派遣要請書

西暦 2024年4月22日

一般社団法人京都知恵産業創造の森 理事長 様

中小ものづくりDX推進アドバイザー派遣事業によるアドバイザーの派遣を以下のとおり要請いたします。
今回の要請は、従前から継続して助言を受けているアドバイザーに対して、同様の分野に関する診断助言を要請するものではありません。

企業名					
所在地	〒 - 京都府亀岡市				
派遣を希望する住所	(所在地以外での派遣を希望する場合は、ご記入ください)				
代表者名		電話	- -		
	(加) - - - - -				
担当者の役職、氏名					
業種	(なるべく詳しくご記入下さい)	資本金	5,000 千円未満	従業員数	100 人以下
	電子機器 製造業				
現在行っている事業の概要					
電子機器の設計・開発から部品調達・納入サービス、基板設計・実装・組立・検査・梱包まで一貫した製造受託サービスの提供					

1 派遣申請の内容・理由

(1) 現状の課題や問題点について (具体的内容を明確に)

- ①生産状況確認に要するタイムロスの発生
工場の再構築により、人員配置等の効率は良く出来たが、管理範囲が工場の1階～3階と増えた為に、生産状況把握に時間を要してしまう。
- ②品質状況把握の遅れ
品質状況確認が、少量多品種の為に1品種ずつ確認していると時間が掛り、各作業員から不具合が打ち上がった時には遅く、手直しに時間が掛ってしまったり、最悪は手直し不可となる為、少しでも早く気付ける様にしたい。

(2) 支援を求める内容 (アドバイザーに支援を求める内容を記載し、下記にはその詳細を記載)

- ①生産状況がリアルタイムに確認できる生産システムの構築
- ②品質状況がリアルタイムに確認できる生産システムの構築

各現場に、生産状況を一目で把握できるモニターを作成したいが、どう進めたら良いかわからないので、ご教授して頂きたい。
集めた情報を集約して、PC上で見れたら尚良いが、やり方がわからないので弊社、開発課と製造課に方法の伝授をして頂ければ有難い。
後、現在検討している内容で進めてよいか？他社事例やアドバイザー様の考えや、違うやり方をご教授頂きたい。

支援項目	目標及び課題に対し自社で主体的に取り組んでいる内容 ※あれば記載ください	左記取組みを行う中で支援を求める内容
生産状況及び品質状況がリアルタイムに確認できる生産システムの構築。	今後の勉強の為に、弊社開発でソフトは構築し、製造課でハードを作成したい。	進め方のアドバイスや、他社様で取り入れておられる良き方法をご教授願いたい。

(3) アドバイザーの指導に期待する効果(成果)
(数値目標など明確に)

- ①・生産システムの提案をご教授頂く
・生産状況確認に要するタイムロスの改善
・システム構築により、ネックラインの洗い出し
・設備稼働の生産性低下が無いかの、ライン監視システム構築
- ②システム構築により、品質向上に向けた、現状把握の短縮
今後も継続的に改善を行って行く為、今回教えて頂いた内容を
弊社、製造課、開発課のDX改善の基盤として進めていけるようになりたい。

(4) 支援内容の分類 (該当するものに全て○印を付ける。)

	営業、販売支援		生産管理	○	生産技術
○	品質管理	○	人材育成	○	IT・Web

営業、販売支援：顧客管理、売上管理、業務フロー改善
生産管理：物流改革・在庫管理、業務フロー改善、原価構築
生産技術：生産性向上(設備・工程の改善、作業の標準化)、コストダウン
品質管理：品質保証・品質管理、食品衛生管理
人材育成：社員教育・マニュアル整備
IT・Web：デジタル化、システム化、社内情報共有

2 アドバイザーの派遣を希望する時期及び回数

※本項目は貴社がアドバイザー訪問に対応できる日について記載ください

- (1) 4 時間/回 × 1 回/週 (または月)
- (2) 繁忙期等、対応不可の時期があれば、5/28～6/20 9月/10月
- (3) 曜日に制約があれば、月 曜日

※派遣は、従事時間の上限は、232.5時間とする。(30日×7.75時間)
ただし、法人が特に認める場合はこの限りではない。

希望するアドバイザー (アドバイザーの専門分野または氏名等)

生産現場やモノづくりがわかる方や、生産システムがわかる方

3 過去に京都府の支援を受けたことがある場合は、その時期及び内容

※ 本様式の提出後にDX推進アドバイザーとの調整等により、(3) 支援を
求める内容等に変更を生じた場合は、その都度再提出のこと